



〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31
公益財団法人 現代人形劇センター内
TEL: 044-777-2228
FAX: 044-777-3570
e-mail: deaf@puppet.or.jp
URL: <http://deaf.puppet.or.jp/>
Twitter DEAF_PUPPET
Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」

ご報告

日頃よりデフ・パペットシアター・ひとみを応援いただき、ありがとうございます。
この度、劇団代表 善岡修 が2020年3月31日をもちまして退団する事となりました。
2002年に入団、2005年から劇団代表を務め、劇団を牽引してきました。2015年からの3年間はNHKテレビ「みんなの手話」講師として出演するなど全国各地のたくさんの方から応援いただきました。本当にありがとうございました。
4月からの新代表は榎本トオルが務めます。以下、善岡修・榎本トオルから皆さんへのご挨拶です。

善岡修からのご挨拶

新型コロナウイルスでの不安なニュースが飛び交うなか、このタイミングが重なってしまいましたが、皆様にご報告があります。このたび、善岡修は一身上の都合によりデフ・パペットシアター・ひとみを退団することになりました。人形劇の世界も知らずに興味津々で飛び込んだあの日から、18年が経ちました。デフ・パペの先輩方やひとみ座の皆さん、外部の演出の方々など、稽古などを通し人形劇を含めた表現の奥深さを教えてくれました。まだまだ教わり足りませんが、ここまでの叱咤激励に大変感謝しています。全国各地をメンバーと寝食を共にして移動する旅公演では、公演を楽しみに待っているお客さんと会う事を楽しみに心に残るような人形劇を準備してきました。全国各地で公演に関わってくださった実行委員のみなさんやお客さんのことが、忘れられません。ここから思い出話になりますが、僕がデフ・パペ入団を決意したきっかけのひとつが「オルフェウス」公演でした。客席全体を見回すと幼いお子さんから年配といった老若男女問わず幅広い年齢層で、そのほかに聴覚障害者、視覚障害者、車椅子の方といった障害のある方も見られました。外国からいらっしゃる方もいて、あのとき僕が感動したことは「人形劇」の舞台だけではなく、会場全体が障害の有無や年齢や国籍に関わらず、みんな一緒になって感動を共有する雰囲気を感じたことは、今でも覚えています。今後の活動は未定ですが、これまでの経験を活かしていきたいと思います。次期劇団代表は、榎本トオルさんにバトンタッチします。これからの新生デフ・パペットシアター・ひとみの応援をよろしくお願いします。今まで、本当にお世話になりました。心より感謝を申し上げます。

2020年 2月25日 善岡修

新代表・榎本トオルからのご挨拶

デフ・パペットシアター・ひとみ代表善岡修さんから受け継ぎ、数えて五代になりますけれども、わたくし榎本トオルがデビュー作品「さくらものがたり」の花咲爺さん、デフパペの顔(象徴)として、デフパペに花を咲かせ、実行委員会さんに花を咲かせ、デフパペファンのみなさまに花を咲かせ、観客の皆様にも花を咲かせたいです。

また、初代からの歴代の代表の方々、デフパペメンバーだった方々にも、デフパペを見守って、花咲かせてもらいたいと思います。善岡修さん、本当にありがとうございました。これからもデフパペを見守っててくださいね。

そしてデフパペを応援していただいている皆さま、ありがとうございます。これからも花を咲かせてください。おしゃべりおはなし字書き文章は下手な僕ですが、これからもどうぞよろしく願いいたします。

2020年2月25日 榎本トオル

◆ろう者が参加する日本とラオスの人形劇団ワークショップ Part 1 in ラオス◆

劇団カオニャオ（ラオス）×デフ・パペットシアター・ひとみ（日本）

昨年に続く共同ワークショップ第二弾。世界的にも貴重な、ろう者と協働する人形劇団の共同作業です！

2年目の今回は、お互いの国で、昨年より長い日数をかけ、多様な手法を探りながら新たな小品をつくることを目指しています。

1月にはラオスで、9月には日本で共同ワークショップを実施し、いずれも最終日には発表公演（一般公開）を行います。

今回は【Part 1 in ラオス】1月のラオスでのプロジェクト報告です。



→参加メンバー（ラオス9名、日本9名）内ろう者5人（演技者4、通訳1）



2020.1.11～18 共同ワークショップ 場所：カオニャオスタジオ（ビエンチャン）

ワークショップ中は、ラオ語・日本語・日本手話・ラオス手話の4言語が飛び交います。日ごとにそれぞれが言葉を覚え、通訳を介さずお互いの言語でコミュニケーションをとる場面も。滞在中は、ビエンチャン特別市特別支援学校（聾学校）へ訪問し、公演・ワークショップも実施しました。子どもたちのキラキラした笑顔が印象的でした。

2020.1.19 発表会 場所：ラオス国立人形劇場



最終日19日の発表会では、ラオス国立人形劇場にて共同制作成果作品の発表と同時に、ラオス国立人形劇場さんにも上演いただきました。当日は立ち見が出るほど、多くのお客様にご来場いただきました！ 次回は9月に、日本にて！

【ろう者が参加する日本とラオスの人形劇団ワークショップ Part2 in 日本】

日程：2020年9月7日（月）～20日（日） 会場：ひとみ座スタジオ（川崎市）ほか

内容：7日（月）～18日（金）共同ワークショップ 19日（土）川崎市国際交流センターにて成果発表会（一般公開）

期間中に、聾学校や、ろう者の参加する芸術団体などを訪問し、交流ワークショップを行います。

◇聾学校でのワークショップ報告◇（本ワークショップは公益財団法人キリン福祉財団の令和元年度計画事業として実施しました）



今年は、札幌ろう学校（北海道）、旭川ろう学校（北海道）、坂戸ろう学園（埼玉県）、横浜市立ろう特別支援学校（神奈川県）の4校で行いました。

何をやった？

目と鼻、口に穴を開けたお面を使い、その穴から手を出して、手を開いたり、握ったり、右へ向けたり、左に向けたりして、泣く・怒る・笑う・ダラ～とするなどの気持ちを表現してみよう！！というワークショップ。

テーマは「待ち合わせ」。子どもたちは、年齢も人数もいろいろでした。2人一組でいろんな設定を考え、たくさんの「待ち合わせ」ができました。例えば、友達同士・お父さんとお母さん・動物たちの待ち合わせなどなど。本当に子どもたちは面白いことを考えますよねえ。最初はちょっと恥ずかしそうにしていた子も、だんだんのってきて、楽しそうにお面を遣っていました。またやりたいですねえ。

文・やなせけいこ

公演スケジュール

詳細は劇団までお問い合わせください。

★デフパペ友の会★

デフ・パペットシアター・ひとみでは様々な特典のある【友の会】を募集しています。

- ・年会費
個人会員 1500円
ペア会員 2500円
- ・特典
デフパペ公演割引
グッズお買いものチケット
デフパペニュースのお届け
オリジナルお誕生日カード

◆寄付・賛助会員について◆

デフ・パペットシアター・ひとみの企画運営をしている（公財）現代人形劇センターでは、人形劇の普及・発展のために、様々な活動を行っており、活動に共感いただいている方の参画をお待ちしています。ここでの収益は、デフ・パペットシアター・ひとみを含む、現代人形劇センターの事業の活動資金となります。詳細は現代人形劇センターHPまで。

☆ひとみ座 70周年企画

人形劇「みつあみの神様」（原作：今日マチ子）

デフ・パペットシアター・ひとみ役者の鈴木文、加藤楚明も出演します。

◇公演期間 / 2020年3月18日（水）～2020年3月24日（火）

◇会場 / シアターグリーン Box in Box THEATER（東京・池袋）

◇お申込み・お問い合わせ /

人形劇団ひとみ座 TEL：044-777-2225(10時～18時 日休) / FAX：044-766-0249 /

Mail：puppet@hitomiza.jp

デフ・パペットシアター・ひとみ メンバー

善岡修 榎本トオル やなせけいこ

鈴木文 増子仁美 加藤楚明

吉村衣世 中西優樹 池内剛志